

報道関係者各位

2018年12月6日
慶應義塾大学 SFC 研究所

大面積・高精度の「足圧センサー」を共同開発

－ 20m を超える歩行計測と可搬性の両立を実現 －

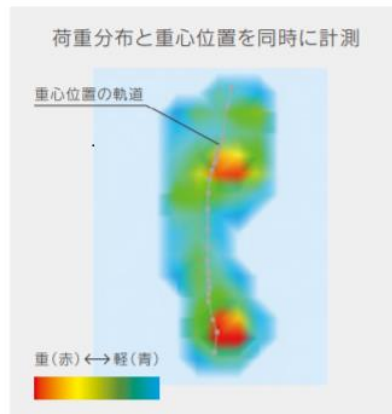
慶應義塾大学 SFC 研究所（所長：田中浩也）スポーツ・アンド・ヘルスイノベーションコンソーシアム（代表：仰木裕嗣）は、NISSHA 株式会社（以下、NISSHA）と足圧計測装置「足圧センサー」を共同開発しました。この「足圧センサー」は、12月12日～14日に東京ビッグサイトで開催される SEMICON Japan 2018 に出展されます。

1. 「足圧センサー」の特徴

足圧センサーは、連結したセンサータイルを歩いた際の足裏接地面の荷重分布と荷重中心位置の移動を計測・記録するとともに、取得したデータを解析することにより歩行の特徴や変化をデータとして出力する装置です。タイルを連結する方法を採用しているため、可搬性に優れ、かつ設置スペースに合わせた長さに調整ができます。20m を超える長さに連結することも可能であり、世界的にもユニークな大面積の足圧計測装置となります。多くの歩行周期の計測により高精度のデータ収集が実現でき、スポーツトレーニングのサポートや介護予防への活用など幅広い用途に活用することが期待されます。

2. 開発の背景

NISSHA のデバイス事業は、スマートフォンやゲーム機、自動車などグローバル市場で多様な製品に採用されるフィルムタッチセンサーを主力製品としています。NISSHA が培ったタッチセンサー技術と、スポーツ工学を専門領域とする仰木研究室が中心となっているスポーツ・アンド・ヘルスイノベーションコンソーシアムの力学モデルを融合させ、スポーツ・健康分野での簡易かつ実用的な足圧計測装置として 2019 年の製品化を目指しています。



※本プレスリリースは、新聞各社社会部等に配信しております。

【本件についてのお問合せ先】

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授 仰木裕嗣
E-mail: ohgi@sfc.keio.ac.jp

【配信元】

慶應義塾大学 湘南藤沢事務室 学術研究支援担当
E-mail: kri-pr@sfc.keio.ac.jp
TEL: 0466-49-3436
FAX: 0466-49-3594